



# おぐに議会だより



第56号

令和7年2月10日

○令和6年第4回定例会(12月議会)

表紙写真の説明

雪景色の北里柴三郎記念館

# 令和6年 第4回 定例会(12月議会)

第4回定例会が12月6日(金)から11日(水)に開かれ、下記の議題が審議されました

○承認第7号 専決第7号一般会計補正予算(第5号)

…1194万8千円追加し、総額61億4027万円とするもの。

内容 衆議院議員総選挙費用

全員賛成  
可決

○議案第37号 公共工事請負契約の締結(町道下滴水線「下滴水橋」架け替え工事)

…請負代金 6798万円

受注者 (株)伊藤組

工事概要 上部工一式、左岸側擁壁工一式

全員賛成  
可決

○議案第38号 熊本県市町村事務組合の規約の一部変更

…交通災害見舞金に関する共同事務から山鹿市が脱退するため。

全員賛成  
可決

○議案第39号 一般会計補正予算(第6号)

…7億5704万9千円追加し、総額68億9731万9千円とするもの。

主要内容 財政調整基金積立金4億1千万円、ネットワーク事業基金積立金7225万円、土木施設災害復旧工事請負費(現年災)3800万円、ふるさと寄付金謝礼3150万円など

全員賛成  
可決

○議案第40号 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

…81万4千円追加し、総額11億2573万6千円とするもの。

内容 保険給付費等交付金(県)返還金290万円、予備費▲294万円、システム改修負担金81万4千円、通信運搬費4万円

全員賛成  
可決

○議案第41号 介護保険特別会計補正予算(第1号)

…1521万2千円追加し、総額11億2342万7千円とするもの。

内容 介護給付費(国)返還金1085万6千円、介護給付費(県)返還金265万円、地域支援事業交付金(国、県)返還金131万1千円、在宅介護用品支給費20万円、在宅介護者手当支給費19万5千円

全員賛成  
可決

○同意第3号 固定資産評価審査委員会委員の選任

…前任者の任期満了による新任

氏名 穴井喜一郎

生年月日 昭和38年3月23日

住所 黒淵



全員賛成  
同意

○諮問第2号 人権擁護委員の推薦

…前任者の任期満了による新任  
氏名 時松洋順  
生年月日 昭和37年9月11日  
住所 宮原



全  
賛  
成

○発議第1号 ジャージー牛乳消費拡大応援条例

…子ども議会で提案された条例を実現し、特産のジャージー牛乳の消費拡大と継承を図るもの。

賛成少数  
3-6 否決

討 論

発議第1号 ジャージー牛乳消費拡大応援条例

(反対討論)

**【松崎】** この条例の公共調達について、発議提出者と賛成者は牛乳の生産者であり、議員でもある。自身への利益誘導ともとられかねない。また発議提出者本人が言うように本案の内容が詰められていない。

小国町の特産品や観光などの宣伝、販売促進、消費拡大などの応援は当然行わなければならないが、本案には賛成しかねる。

(賛成討論)

**【児玉】** 2022年の市町村別農業産出額の小国町の合計産出額22億円中乳用牛は8億8千万円で全体の40%を占める。町の農業経済の屋台骨だ。また町外に出かけても加工品で「小国ジャージー牛乳使用」というものを数多く見かける。町のPRにも大きく貢献している。

## 採決結果一覧表(第4回定例会)

賛否が分かれた採決の結果は次の通りです。

(○は賛成 ×は反対)

議案番号	事件名	採決結果	江藤理一郎	杉本いよ	高村祝次	児玉智博	穴見まち子	松崎俊一	松本明雄	熊谷和昭	久野達也
発議第1号	小国町ジャージー牛乳消費拡大応援条例の制定について	否決	×	○	○	○	×	×	×	×	×

## 令和6年 第2回 阿蘇広域行政事務組合定例会



報告者  
松本 明雄

第2回阿蘇広域行政事務組合定例会が令和6年10月18日(金)に行われ、全8議案が提出され、全て全会一致で可決された。内、小国町に関する議案は以下の通り

○認定第1号 令和5年度阿蘇広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算

○議案第13号 令和6年度阿蘇広域行政事務組合一般会計補正予算(第1号)

○既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5127万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ29億2570万円とする。

### 阿蘇広域行政事務組合議員視察研修

◆1月14日(火)～15日(水)宇城クリーンセンターと鹿児島市南部清掃工場を視察した。

## 令和6年 第2回 小国郷公立病院組合議会報告



報告者  
松崎 俊一

第2回小国郷公立病院組合議会が令和6年9月30日(月)に行われ、令和5年度病院事業会計決算が全会一致により可決された。

事業収益19億1700万円、費用16億8200万円で当年度純利益2億3500万円。古賀代表監査委員から決算審査意見書ならびに資金不足比率審査意見書の説明が行われた。

病院事業が1億8400万円増収、おぐに老健が500万円の増収、サテライト診療所が2200万円の収入となった。監査委員の意見として、安定した経営の持続と地域の中核病院としての役割を果たすよう要望された。



午前7時37分小国の初日の出(びらみっとから)



元旦に夕日を浴びるわいた山(南小国側から)

令和6年 第4回 小国町議会定例会一般質問

氏名	質問内容
久野 達也	①地域政策と地方創生
高村 祝次	①下城イチョウの駐車場について ②今までの質問の経過について
児玉 智博	①月刊誌の記事について ②地熱の恵み基金条例について
穴見まち子	①今年の稲作や野菜の出荷状況について ②小学校、中学校で小国町のどの様な学びが来ているか
熊谷 和昭	①収入未済額について ②歳入財源別決算状況
杉本 いよ	①子ども議会 ②避難所対策
江藤理一郎	①高齢者の免許返納について ②自治体ライドシェアについて



地域政策と  
地方創生

久野 達也

**問** 令和6年12月補正予算後で財政調整基金の現在額は15億円程度となる。令和7年度予算編成の中で基金を活用した単独事業費の考えはかがか。

**【町長】** 来年、再来年、5年後等を考えたとき予測が難しい中では、財源の確保や何か事案が起きた時などに備える部分が大事だと思っている。

**問** 過去に財政状況の厳しい時期に団体補助金等の1割カットがあった。財政調整基金がその時期より多く積立てられた中、団体等の活動支援ができる時期を迎えているとも思う。地域貢献団体への活動支援は町の活性化にも繋がると思うが、基金等を活用した地域活動支援等についての考えはかがか。

**【町長】** 毎年見直しをする中でどうしても経費の掛かる部分は相談いただき具体的な話があれば予算付けも考えられなくもないと思っている。

**問** 一例として現行のコミュニティ交通対策としての乗合タクシーなどの交通弱者対策や3歳未満児の保育料、給食費対策など段階的な部分も含めて基金活用により受益者の負担軽減が可能になると思う。地域政策と地方創生ということで現段階でのお気持ちを伺いたい。

**【町長】** 地域公共交通では町内交通網の充実を図りたいと検討に上がっている中で、その部分に基金を使うのかは抜きにしても交通網の充実はしっかり考えていく。子育て支援としての保育料では検討はまだ出来ない。給食費の部分に関しては国策とも思っている。機会があったら国県とも協議し給食の無償化それから保育園もしたいと思っているので特定財源もしくは国県としっかり考えをまとめた中で踏み切りたい。

**（久野）** 現行世代の生活環境を整える事は次世代のために繋がると思っている。町の独自政策の展開と国の地方創生とのリンクにも期待したい。



## 下城イチョウの 駐車場と 小国町の活性化

高村 祝次

**問** 下城大イチョウ周辺の駐車場について、9月議会の時にも下城大イチョウ周辺の民有地の購入をという話しをしたが、11月に紅葉シーズンが始まると1か月間ぐらいは駐車場がいっぱいとなり、町道にはみ出して反対側車線に車が並んでいるというのは土日だけでなく毎日のように続いた。駐車場の数を増やさないと事故が起きたら大変だということを私はつくづく感じた。これはお金がないから買わないとか財源がないから買わないということではなく、もし事故起きたらということを考えると是非あそこを買わなくてもどうにかして駐車場の数を増やしてもらいたい。

**【町長】** イチョウの木の周辺の方たちと話しを12月3日火曜日の夜に楽夢下城の方や银杏の会の方、それから代表の方たちに集まっていたいただいて話しをさせていただいた。主な内容は今までの経過と今後の町の

方針をお伝えした。出来るだけ早急にと思っているが、申請をしてから1、2か月は時間がかかる。地域の方たちと合意形成を図って地域の人たちにとってまた町にとってもいい状態をまず安全面を中心に考えていく。駐車場の整備はその後に考えさせていただきたいと思う。(高村) 来年の紅葉時には駐車場も確保し、いろいろ良い知恵を出しながら安全を第一に考えていただきたい。

**問** 小国町の活性化は第一次産業にあるということで産業課には再三いろんな提案をしてきたが、担当課長に結果報告をしてもらいたい。

**【産業課長】** 林業のほうは自伐林家への間伐材補助事業はチェーンソーの講習会を受講後、補助金の申請が出来るように森林組合を経由して行うようにした。

獣害対策は、防除、駆除の両面ですずっと行っており、その方向性は変わらないが、国の交付金事業を使ったワイヤーメッシュ事業のモデル地区を選定した。新規就農者は国の事業を活用した就農準備中とそれから就農後の経営安定までの期間の交付金がある。そして町単独事業として親元就農補助金。

目の前の課題、中期的な課題、長期的な課題があるが、整理しながら検討を続けたい。

(高村) しっかり町民の方の意見を真摯に受け止めて議員だけが言ったことを取り上げるのではなくて、今後の小国町をつくってもらいたいと思う。



## 地熱開発の 現在地は

児玉 智博

**問** 2月に山川温泉組合から町と地熱審議会、地熱事業者に還元井掘削計画に対する意見書が出された。掘削計画地は温泉源から650メートルしか離れておらず影響が懸念されるため、計画に反対を表明するものだった。町、地熱審議会はどんな対応をしたか。

**【情報政策課長】** 町が事業に同意する場合、山川温泉との協議を続けるよう審議会が答申し、町は引き続き山川温泉との協議を続けるよう条件を付けた上で同意した。

**問** 協議継続を同意の条件にしたと言っても、要するに「お互いで話してください」というだけに過ぎない。これでは事業者と住民間の溝が埋まらないと思う。地熱審議会が、町民が安心できるよう懸

念を払拭していくために自ら調査し説明する事をしなければ、いずれ地熱審議会の存在意義そのものが問われると思うが。

**【情報政策課長】** 地熱事業による影響を評価する際、モニタリングが重要だ。地熱事業者はそれぞれ計画地周辺で井戸水のモニタリングを行っている。さらに全地熱事業者と町で作る地熱協議会で温泉事業者に協力して頂き温泉の共同のモニタリングを行っている。影響が出た時にデータを活用出来るようモニタリングを徹底するのが町が事業者の方々とともにやっていく事と思う。

**問** 審議会の会議録を情報公開請求したが、全体の4分の3は黒塗りされて非公開だ。どの案件が審議されているかも判然としない。極めつけは審議会委員名簿で、氏名は全員黒塗りだ。これでは伏魔殿としか言いようがない。こういう事をやっても地熱審議会が町民の信頼を得る事は出来ない。情報も最大限公開をしていく。審議会の透明化が大事では。

**【町長】** 審議会の内容がどんどん漏れる状況であればその方が大変な問題だ。町のほうでは管理を含めて考えないといけない。



## 米・野菜の出荷状況 小中学校の小国学

穴見まち子

**問** 人権啓発フェスティバルは、小国支援学校、保育園、幼稚園、小中学校、高校までの発表の場であり多くの保護者に見学いただいた。多くの職員に支えられ、子供達の一生懸命さが伝わった。6年生の「かたりつく」は戦後80年経ち、次の世代に伝える事は被爆国日本の思いが世界に繋がって欲しいと思っている。

温暖化により農業をはじめ色々な所に影響が出ている。野菜、米の出荷状況は。

**【産業課長】** 米の出荷見込みは1万3500俵、きゅうりは平年比100%、大根、ほうれん草は86%と影響は大きくなっている。

**問** 天気だけでは無く、農家は米、野菜や、椎茸な

ど、猪や鹿対策が必要であるのはもちろんだが、トタンもしっかりガードしている。また椎茸生産者減少を守るためにも駒の補助は出来ないだろうか。

**【産業課長】** トタンは田んぼだけでなく、他の利用も出来るので難しい状況である。効果を検証させて欲しい。椎茸は、特用林産補助事業として予算組みしている所である

**問** 小学校、中学校で小国学はどのような学びが出来ているか。

**【教育長】** この郷土学習は、小学校1、2年生は「生活科」、3、4年生は総合的な学習「小国を学ぶ」、5、6、7年生は「小国に学ぶ」、8、9年生は「小国と共に学ぶ」総合的な学習の時間を中心に計画的に学んでいる。その狙いは小国の自然や文化、歴史や人物などを学ぶ事により小国を愛する心を育み、次世代へつながる子どもを育てる。人間関係形成能力、課題解決能力を育成するとなっている。



## 収入未済額の現状と対策

熊谷 和昭

**問** 9月議会監査報告によると収入未済額が前年度から約491万円増えて一般会計と特別会計合わせて、5年累計で約6600万円もの滞納が有る。滞納者への徴収業務はどの様に進めているか。各課の収入未済額は。

**【税務住民課長】** 約3973万円。

**【建設課長】** 約2331万円。

**【福祉課長】** 約336万円。

**【情報政策課長】** 約57万円。

**【教育委員会事務局長】** 約2万円。

**【税務住民課長】** それぞれの案件を見ますと病気や廃業など誰にでも起こりうる問題が多く、滞納は誰にでも起こりうる問題だと思っている。まず滞納者には払

えるけど払わない方と払いたいけど払えない方に分かれる。納付がない場合は督促状・催告それでも納付の意思が無い場合は財産調査・預金調査のち差し押さえとなる。財産預金が無い場合は執行停止もある。**【総務課長】**滞納が有る方は税金・家賃・水道など幾つもの重複している方が多い兆候に有る。徴収に向けた対策会議等を開き一人一人に寄り添い納税していただけるよう粘り強く交渉している。

**問** 自主財源27億円、31.9%。依存財源58億円、68.1%。財政力指数0.239となる。国が求める理想比率は1:1となっている。財源確保に向けて執行部としてどう考えるか。

**【町長】** 依存財源を出来るだけ増やすことも大事だが、自主財源としてふるさと納税は年々少しずつ増加している。また小国町では指定管理の方たちが非常に優秀で赤字経営が少なく、歳出を抑えられている。鍋ヶ滝カントリーパークを中心とした観光、地熱発電、風力発電などの再生可能エネルギーなども自主財源として大きな役割となると思っている。



## 子ども議会 避難所対策に ついて

杉本 いよ

**問** 子ども議会の子どもたちの質問や提言の内容に非常に感銘を受けた。本当に忙しい受験勉強の合間を縫って、社会科の授業の一環とは言え、真剣に取り組んだ子どもたちの努力には頭が下がる思いがした。しかしながら過疎化が進んでいる町であるということ踏まえると、執行部側の回答には改善の余地もあると感じた。子ども議会は子どもたちが町政に関心を持ち、主体的に参加する貴重な場である。子どもたちが提案しやすいように導くためには、具体的なテーマ設定や課題、問題の解決へ又参加しやすい環境づくりで活動を充実させることも。町は町政に反映させることが大事だ。急速に過疎化が進んでいるということを考えると、若者が働ける場所の確保が必要と思うが、町はどのような考えか。

【町長】子ども議会については、非常に頼もしく感じた。執行部の答弁の中身については、子どもたちがどう

捉えたか、それぞれの考え方であるというふう思う。すばらしい考えがたくさんあるので、町政に反映出来るところはさせていただく。今すぐ出来ること、後に出来ること、出来ないこと、様々にある。選択は町のほうでしっかりさせていただく。

**問** 避難所対策について、今年の正月早々石川県の能登で大地震があった。被害の凄さを皆さんも御承知かと、そこでわが町の避難所に対する対策について、現在、指定されている避難所の数と場所と収容できる人数は。

【総務課長】22か所の避難所。その中で常時避難所として8か所、小国ドームは町最大の収容人数1,500名。冷暖房施設等は配備されていない。旧万成小学校と同体育館は収容人数300名。旧北里小学校体育館の収容人数300名。旧西里小学校は収容人数200名。西里多目的集会所の収容人数50名。旧下城小学校は、体育館が浸水区域で通常は活用していない。校舎の2クラス、50名程度の収容人数。旧蓬萊小学校体育館の収容人数300名。最後に杖立の防災センターの収容人数300名。新しい避難所専用の施設であり、冷暖房配備。この22か所の収容人数は、約5,800名という試算になっている。

(杉本) 必要な状況については十分とはいえない。今後の対策に期待する。



## 高齢者の免許返 納・自治体ライドシェア について

江藤理一郎

**問** 75歳以上の人口と免許返納者数は。

【総務課長】1,552名で年平均26名程。

**問** 高齢ドライバーの免許返納を促す施策は？

【情報政策課長】県内では2万4千円分のタクシーチケットを配布していたり、1年間乗り合いタクシーを免除していたりする地域があり参考にしているが、当面現状の乗り合いタクシーやにじバスの活用促進に取り組む。

**問** 県内73%、45市町村のうち33市町村は免許返納特典を設けている。にじバスや乗り合いタクシーだと病院やスーパー等への買い物の補完はあるが、町内の友人や親せきの家等に出向いたり等自由度が薄いため免許返納者にはタクシーチケットの配布を検討するとよいのでは。

【町長】都会と田舎では状況がかなり違う。まずは状況を考えて本人が考えることであり、運転は免許証なので責任がある。返納を促すのであれば、公共交通を充実させていくことが大前提であり、返納については検討した上で地域の皆さんのニーズに合うのか毎年見直しをさせてもらいたい。

**問** 自治体ライドシェアについて、近隣町村では人口が同規模の自治体である高森町や西原村が検討を開始しているが小国町では検討しているか。

【情報政策課長】一般の方が一般の車を運転して行なうので、タクシー会社としては事故や犯罪時の安全性が心配との声を聞いているため、感触を確かめる所までは全社ではないが行なっている。

【町長】高森町から誘われたが、少し様子を見ることにしている。検討課題には上がっている。

(江藤) 近いうちに公共交通に関して執行部、事業者、議員との話し合いがあると聞いている。ライドシェアに限らず自動運転のコミュニティバス導入も検討し、今後増える交通弱者の応援や小国高校生の通学等も視野に取り組んでもらいたい。

# 議長・議員出席行事等一覧表

日付	曜日	行事名	場所	対象者
10月30日～31日	水～木	阿蘇市町村議会議長・副議長・議会事務局長研修	長崎県川棚町	議長、副議長
11月6日	水	熊本県町村議会議長会 町村議会広報研修会	グランメッセ熊本(熊本市)	広報特別委員
11月13日	水	第68回町村議会議長全国大会及び県関係国会議員への要望と意見交換会	NHKホール・全国町村会館(東京都)	議長
11月15日	金	こども議会	おぐに町民センター	議員 全員
11月18日	月	全国過疎地域連盟第58回総会	日本消防会館(東京都)	議長
11月23日	土	第43回小国町ロードレース大会	消防署下	議員 全員
1月3日	金	二十歳の集い	おぐに町民センター	議員 全員
1月5日	日	消防団出初式	消防署下	議員 全員
1月15日	水	阿蘇地域の道路整備に関する要望(県知事、県議会議長)	県庁	議長
1月16日	木	阿蘇青年会議所新年賀詞交歓会	阿蘇市	議長
1月19日	日	南阿蘇村村制20周年記念式典 中九州横断道路大津道路中心杭打ち式	南阿蘇村 大津町	議長 副議長
1月21日	火	公共交通座談会 阿蘇市町村議会議長会総会、意見交換会	おぐに町民センター 阿蘇市	議員 全員 議長
1月23日	木	第2回熊本県町村議会議員研修(オンライン)	おぐに町民センター	議員 全員
1月26日	日	陸上自衛隊第8師団第48回定期演奏会	熊本市	議長
1月28日～30日	火～木	議員研修	岡山県、香川県、広島県	議員 全員

## 小国町議会 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年は20年ぶりに新紙幣が発行され、小国町出身の細菌学者北里柴三郎博士が新千円札の肖像画になりました。北里柴三郎記念館には町内外をはじめ、海外からも多くの方に来ていただき大盛況となりました。本年も北里柴三郎記念館や鍋ヶ滝、温泉などを中心に小国町へより多くの方が訪れて頂けるよう期待しています。



熊谷博行 議長

我々議員は、今後も皆様とともに、明るい未来を目指して進んでいくことをお約束申し上げます。

むすびに皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、本年もどうか小国町議会をよろしくお願い申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

小国町議会議長 熊谷博行  
他 議員一同

おめで  
成人  
で  
た  
う



## 傍聴に来ませんか

議員は議会でどんな発言をしているの?どんなまちづくりを考えているの? 議会に来てあなた自身でご覧ください。

今回初めて町の議会の傍聴いたしました。  
最初は議場の雰囲気緊張しましたが、地域の課題や政策についての議論を直接聞く貴重な経験となりました。  
議会の動きがどのように町の未来に影響を与えるのか、興味が深まりました。



株式会社  
小国町おこしエネルギー  
高倉 睦代さん  
(小国町北里)

(12月10日傍聴 第4回定例会)

傍聴者数  
第4回定例会 17人

\*次の定例会は3月です。日程はホームページやおぐチャン、LINEでお知らせします。  
詳しくは議会事務局まで TEL:0967(46)2119

## 編集後記

明けましておめでとうございます。昨年末よりインフルエンザが猛威を振るっています。マスクの着用手洗いとこまめな水分補給は感染対策には良いようです。人混み等は出来るだけ避け町民皆で感染症対策に取り組みましょう。2025年で小国町議会も本体制となり間もなく3年目を迎えます。大変厳しい地方情勢の中、先祖代々受け継いできた小国町を少しでも良い形で後世へ託せる様に、執行部議会一丸となり議論を重ねて行きたいと思えます。皆様も明日の小国町の為どれを選択すべきか町民として考えてみてください。

広報委員会も如何に分かりやすい広報誌にするか思案しています。ご意見をお寄せください。(文責 熊谷 和昭)



【発行責任者】  
議長 熊谷 博行  
【広報委員会】  
委員長 児玉 智博  
副委員長 杉本 いよ  
委員 松崎 俊一  
委員 熊谷 和昭

## 事務局より

### 人事異動

▽税務住民課主事  
(議会事務局書記兼監査委員事務局書記)  
穴見 紗里奈



岳の湯から見た夕日

## 表紙の写真募集

皆さんが撮影した写真をおぐに議会だよりの表紙に載せませんか。

掲載された方には粗品を差し上げます。

### 応募方法

画像データをメールに添付して

[gikai@town.kumamoto-oguni.lg.jp](mailto:gikai@town.kumamoto-oguni.lg.jp)

に送信してください。メールにはお名前とご住所、写真撮影日時、場所、エピソード等をご記入ください。

※お名前とエピソードを記入された場合は紙面で紹介します。ペンネームを希望される方はペンネームを記入してください。

### 応募条件

- 3MB以上のデジタルデータ
- 写真は町内で撮影されたもので、未発表のもの
- 町や町議会の発行物での2次利用を認めていただける方
- 18歳未満の方は保護者に応募してもらってください。
- 他人の著作物を被写体とした場合は、著作権者の承諾をうけたもの
- 人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けたもの
- ※多数の被写体が撮影されて、小さく写りこんでいる場合は、個人特定の低い風景写真とみなし、この限りではありません。

町議会の会議録は町ホームページの中に掲載されています。ご覧ください。

